



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場会社名 石原産業株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 4028 URL <http://www.iskweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 一孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務本部長

(氏名) 寺川 佳成

TEL 06-6444-1850

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	54,729	9.8	3,197	197.4	647	—	△158	—
23年3月期第2四半期	49,843	5.2	1,075	—	△1,807	—	△2,207	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 397百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △3,209百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.39	—
23年3月期第2四半期	△5.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	171,256	48,553	28.3
23年3月期	172,429	48,158	27.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 48,536百万円 23年3月期 48,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	10.0	11,100	22.8	7,700	24.9	4,400	△9.3	10.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	403,839,431 株	23年3月期	403,839,431 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,733,846 株	23年3月期	3,709,794 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	400,119,760 株	23年3月期2Q	400,220,017 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
(4) 重要な偶発債務.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(5) セグメント情報等.....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による一時的な生産活動の停滞や個人消費の悪化からは持ち直しが見られたものの、歴史的な円高水準への進行や海外経済の減速に伴う輸出減などにより景気の先行きに不透明感が強まる状況となりました。世界経済についても、全体として緩やかな回復基調は維持したものの、新興国でのインフレ圧力の高まりや欧州における過大債務国問題の長期化などにより、景気回復ペースは鈍化しました。

当社グループ事業を取り巻く市場環境は、酸化チタン業界では、原料鉱石価格の大幅な上昇と世界的な需給タイト化を受け販売価格の改善が進むなど全体として順調に推移しました。農薬業界では、世界的な穀物価格の回復と栽培面積の拡大を受けて全体的な農薬販売は増加しましたが、農業従事者の低コスト志向を受けて、企業間、薬剤間の競争は一層激化しました。なお、為替が期末にかけて一段と円高に進んだことは、輸出比率の高い当社業績にとって、大きなマイナス材料となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高547億円（前年同期比48億円増）、営業利益31億円（前年同期比21億円増）、経常利益6億円（前年同期は18億円の経常損失）、四半期純損失は1億円（前年同期は22億円の四半期純損失）と売上高、各利益ともに改善しました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

（無機化学事業）

酸化チタンは、国内需要が東日本大震災後も予想外に堅調に推移したことによる販売数量増に加え、世界的な需給のタイト化を反映し国内外ともに販売価格改善が進んだことなどから、売上高が増加しました。

機能材料は、化粧品用途向けなどの販売が堅調であった半面、昨年好調であった電子部品用途向けが需要家の在庫調整などにより落ち込んだことから、売上高が減少しました。

損益面では、原燃料価格の上昇や為替円高の影響を受けましたが、製品価格の改善が進んだことや操業が順調であったことなどにより、前年同期に比べて改善しました。但し、近時のチタン鉱石価格の高騰は過去に例がないほど大幅なものであり、今後一段と製造コストに甚大な影響が出てくることは避けがたい状況となっています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は293億円（前年同期比41億円増）、営業利益は40億円（前年同期比29億円増）となりました。

（有機化学事業）

農薬は、国内において殺虫剤の販売好調などにより前年同期を上回る販売を確保したこと、海外において除草剤は新規製品の本格販売等により、殺菌剤は米州での販売が好調であったことなどから売上高は増加しました。一方、急激な円高の進行による利益率の低下や開発中の新規剤の登録申請に向けた研究開発費の増大などにより営業利益は前年同期を下回りました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は235億円（前年同期比22億円増）、営業利益は2億円（前年同期比5億円減）となりました。

(建設事業)

建設事業は、前年同期売上高に含まれていた大型工事がなくなったことから、売上高13億円（前年同期比16億円減）、営業損失3億円（前年同期は4百万円の営業利益）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は売上高5億円（前年同期並）、営業利益は83百万円（前年同期並）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは107億円の収入（前年同期比37億円収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により5億円の支出（前年同期比10億円支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金などの純増減により67億円の支出（前年同期比9億円支出増）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、前連結会計年度末より34億円増加の251億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し等を踏まえて、平成23年5月13日に公表しました平成24年3月期の通期業績予想（連結・個別）を修正しました。

詳細は平成23年11月7日に別途公表しました「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(4) 重要な偶発債務

当社四日市工場内の土壌・地下水の汚染修復対策並びに工場内に存在すると推定される埋設物への措置費用については、当期に支出した費用及び当四半期末において合理的に見積もられる範囲内の費用を特別損失に計上し、それ以外で現時点において合理的に見積もることができない恒久的な汚染修復対策の費用及び埋設物の措置費用は計上しておりません。

1 四日市工場内における土壌・地下水汚染への対応

コンプライアンス総点検後に実施した当社四日市工場内の土壌・地下水調査の結果、主に過去の生産活動に由来すると考えられる汚染が判明したため、当社は三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出書を、所管する四日市市に提出しました。その後、第三者の学識経験者による環境専門委員会の指導と助言の下、平成22年度末までに、汚染状況及び汚染源の特定に関する調査、汚染の拡散防止策にかかわる設計データの収集、原因物質の除去や不溶化の工法についての試験施工の実施などを進めてまいりました。平成23年度は、汚染地下水の拡散を防ぐため揚水設備を設置、試験揚水を予定する他、引き続き試験施工の結果等を踏まえ、詳細な調査を継続いたします。これら調査・検討結果などに基づく具体的な汚染修復対策については、平成23年度後半以降に段階的に固まってくるものと見込まれます。

2 四日市工場内に存在すると推定される埋設物への対応

コンプライアンス総点検において公表した、四日市工場内において撤去を要すると考えられる埋設物等の現時点における調査結果は、下記項目に記載のとおりであります。将来的に一定の範囲での業績への影響は避けられないものと考えていますが、当該場所を含め工場内各所の空き地が、広くフェロシルトの仮保管場所となっている状況下では、効率的に詳細調査を継続することができず、現在も埋設物の種類・性状・埋設量等の全体概要の確認には至っておりません。

このような現状に鑑み、下記案件についての埋設物の埋設位置・範囲・性状・数量の特定や適切な撤去方法など更なる細部検討は、四日市工場内で仮保管中であるフェロシルトの最終処分が完了する平成26年度以降とし、それまでの間は、現在も実施している周辺環境への影響を継続的にモニタリングしてまいります。

①第2グラウンドの埋設物

当該場所は、過去に沈澱池として使用されていた経緯から、合法的に処理された廃棄物も存在しており、これらと違法性の認められる埋設物を峻別の上撤去することとなります。埋設物の位置を特定するための確認調査の過程で、地中での金属反応と他の地層と異なる地質が存在することを確認しており、ボーリング及び試掘調査を実施した結果、一部の廃棄物（金属物）の埋設が確認されています。

②旧SR（合成ルチル）工場跡地の無機性汚泥など

同工場跡地で仮保管していた施工地からの回収フェロシルトは、平成21年1月から搬出を開始し、搬出が完了した区画で一部掘削を実施しました。一部の掘削区画からはフェロシルトと思われる無機性汚泥が確認されています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,082	25,598
受取手形及び売掛金	27,677	28,978
商品及び製品	24,376	20,414
仕掛品	6,306	6,928
原材料及び貯蔵品	11,357	12,270
繰延税金資産	2,190	2,494
その他	2,331	1,430
貸倒引当金	△249	△159
流動資産合計	96,072	97,955
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	22,499	22,482
その他（純額）	33,608	31,583
有形固定資産合計	56,107	54,065
無形固定資産		
のれん	23	11
その他	313	312
無形固定資産合計	336	323
投資その他の資産		
投資有価証券	4,874	3,555
繰延税金資産	13,527	13,383
その他	1,668	2,156
貸倒引当金	△141	△167
投資損失引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	19,913	18,911
固定資産合計	76,357	73,301
資産合計	172,429	171,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,085	19,434
短期借入金	32,285	31,941
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	416	217
フェロシルト回収損失引当金	2,599	2,208
その他の引当金	848	1,000
その他	7,677	8,657
流動負債合計	58,113	63,660
固定負債		
社債	1,800	1,700
長期借入金	40,041	34,237
退職給付引当金	8,406	7,792
フェロシルト回収損失引当金	9,875	8,851
その他の引当金	586	609
資産除去債務	861	868
その他	4,586	4,982
固定負債合計	66,157	59,042
負債合計	124,270	122,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,420	43,420
資本剰余金	10,625	10,626
利益剰余金	△1,713	△1,871
自己株式	△672	△675
株主資本合計	51,660	51,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	17
為替換算調整勘定	△3,611	△3,014
在外子会社年金債務調整額	32	34
その他の包括利益累計額合計	△3,516	△2,962
少数株主持分	15	16
純資産合計	48,158	48,553
負債純資産合計	172,429	171,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	49,843	54,729
売上原価	39,230	41,307
売上総利益	10,612	13,422
販売費及び一般管理費	9,537	10,224
営業利益	1,075	3,197
営業外収益		
受取利息	12	28
受取配当金	77	57
貸倒引当金戻入額	—	144
その他	103	164
営業外収益合計	194	394
営業外費用		
支払利息	929	905
持分法による投資損失	682	731
為替差損	998	885
その他	466	421
営業外費用合計	3,076	2,944
経常利益又は経常損失 (△)	△1,807	647
特別利益		
固定資産売却益	—	1
負ののれん発生益	38	—
事業構造改善引当金戻入額	45	—
その他	64	—
特別利益合計	147	1
特別損失		
固定資産処分損	439	405
環境安全整備引当金繰入額	—	126
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	802	—
その他	24	138
特別損失合計	1,266	670
税金等調整前四半期純損失 (△)	△2,926	△22
法人税、住民税及び事業税	253	282
法人税等調整額	△970	△146
法人税等合計	△717	136
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,208	△158
少数株主損失 (△)	△1	△0
四半期純損失 (△)	△2,207	△158

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△2,208	△158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	△45
繰延ヘッジ損益	1	—
為替換算調整勘定	△947	617
在外子会社年金債務調整額	△2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△18
その他の包括利益合計	△1,000	555
四半期包括利益	△3,209	397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,202	396
少数株主に係る四半期包括利益	△7	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,926	△22
減価償却費及びその他の償却費	2,876	2,837
減損損失	3	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△64
退職給付引当金の増減額(△は減少)	246	△614
フェロシルト回収損失引当金の増減額(△は減少)	△718	△1,415
その他の引当金の増減額(△は減少)	△99	175
受取利息及び受取配当金	△90	△85
支払利息	929	905
為替差損益(△は益)	△31	55
持分法による投資損益(△は益)	682	731
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	802	—
固定資産処分損益(△は益)	187	142
売上債権の増減額(△は増加)	△1,210	△1,081
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,136	2,804
その他の流動資産の増減額(△は増加)	510	393
仕入債務の増減額(△は減少)	2,161	5,165
その他の流動負債の増減額(△は減少)	2,093	1,541
その他	△81	△30
小計	8,465	11,438
利息及び配当金の受取額	63	85
利息の支払額	△926	△904
保険金の受取額	—	41
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△644	39
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,957	10,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20	△100
定期預金の払戻による収入	20	20
固定資産の取得による支出	△915	△1,490
固定資産の売却による収入	318	278
貸付けによる支出	△235	△207
貸付金の回収による収入	236	208
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,013	—
有償減資による収入	—	748
その他	△8	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,619	△545

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,148	△1,715
長期借入れによる収入	1,530	100
長期借入金の返済による支出	△5,625	△4,538
社債の償還による支出	—	△100
リース債務の返済による支出	△408	△488
割賦債務の返済による支出	—	△47
預り金の返済による支出	△218	—
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,874	△6,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△297	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△833	3,435
現金及び現金同等物の期首残高	18,304	21,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,470	25,186

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	25,155	21,267	2,904	515	49,843	—	49,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,242	543	1,785	△1,785	—
計	25,155	21,267	4,147	1,058	51,628	△1,785	49,843
セグメント利益	1,068	762	4	77	1,913	△838	1,075

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△838百万円には、セグメント間取引消去127百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△965百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
20,912	10,786	4,840	13,158	144	49,843

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	無機化学事業	有機化学事業	建設事業	その他の事業			
売上高							
外部顧客への売上高	29,330	23,559	1,300	539	54,729	—	54,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	1,116	761	1,877	△1,877	—
計	29,330	23,559	2,417	1,301	56,607	△1,877	54,729
セグメント利益 又は損失 (△)	4,018	261	△318	83	4,046	△848	3,197

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△848百万円には、セグメント間取引消去125百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△974百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	米州	欧州	その他	計
22,719	11,748	5,705	14,415	140	54,729

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2 本邦以外の地域区分は、地理的近接度及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主要な国又は地域は、次のとおりであります。

(1) アジア：中国、台湾、韓国、タイ、インドネシア、シンガポール

(2) 米州：米国、カナダ、ブラジル、アルゼンチン、メキシコ

(3) 欧州：ドイツ、オランダ、フランス、英国、ベルギー、イタリア、東欧及び中東地域

(4) その他：オーストラリア、ニュージーランド、アフリカ地域

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。